

# 平成16年度学校経営計画

## 1 学校の現況

学校番号	55	学校名	県立波崎柳川高等学校				課程	全日制		学校長名	大川 英世					
教頭名	信樂 愨								主査兼事務長名	池田 光政						
教職員数	教諭	32	養護教諭	1	常勤講師	6	非常勤講師	2	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	2	計	48
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	78	86	86	105	68	91			231	281		14			
	普通科(体育コース)	34	5	21	5	21	16			77	27		3			
	計	112	91	107	110	89	107			308	308		17			

## 2 目指す学校像

- 文武両道の校風樹立を目指し、進学及び部活動の充実に力を入れることにより学校の活性化を図り地域社会に貢献する。
- 体育コースの設置による特色ある教育を目指すとともに、普通科2年次からの進路や能力適性に応じた3つの類型( 類型, 類型, 類型)の教育課程を実施することにより、一人一人の個に応じた教育を目指す。

## 3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学習指導	生徒達の学習意欲は比較的高く、特に意欲の高い生徒は早朝から放課後まで、課外授業等に参加して学習している。一方では、学習の目的を見失って、学習意欲が不十分な生徒もいる。	進学課外や成績不振者補講等を充実させる。中間検査点数が30点未満の生徒には可能な範囲で補講を行う。
進路指導	四大進学者の課外指導は充実している。しかし、就職指導における対策が、生徒の希望どおりにいかない面がある。	進学対策同様に、きめの細かい対応をどのようにすべきか。
生徒指導	自己規制力を持ち、安定した学校生活を送っている生徒が多い反面、規範意識が低い(自己中心的生活態度の)生徒が散見される。	生徒の規範意識の高揚を、全職員で全部門から総合的に考え実践する必要がある。
特別活動	部活動への加入率は良く、毎日遅くまで練習に励んでいる。生徒会活動は、やや消極的である。	生徒会活動の活性化を図り、学期毎に生徒会誌を発行する。

## 4 中期的目標

- 普通科2年次からの進路や能力適性に応じた3つの類型( 類型, 類型, 類型)が生徒の現実に必ずしもそぐわなくなっているため、類型の運用面での見直しを図る。
- 大学進学の希望を最後まであきらめさせないで、きめ細かな指導を職員総掛かりで行うようにつとめる。
- 心の教育の充実と実践を図るため、生徒相談室等を使った面接指導により生徒一人一人を把握することにつとめる。
- 生徒会活動や部活動を通して、感動を味わい有意義な学校生活をおくれるようにつとめる。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	基礎学力の向上を図る。	成績下位者に対する課外指導を徹底し、基礎基本の確実な定着を図る。	
	進学指導の充実を図る。	受験対策を早期より実施し、受験に向けての意識改革向上を図る。	
	進路（特に就職）指導のさらなる充実を模索する。	情報や資料提供をきめ細かく行い、就職に対する厳しい状況を認識させる。	
	問題行動の未然防止及び不審者対策を強化する。	安全教育等の機会を増やし、事故・事件の未然防止に努める。	
	総合的な学習の時間の充実を図る。	主テーマの”自己実現”に向けて各種講話やボランティア等を効果的に実施するように努める。	
2年次	心の教育を充実させる。	個人面談や家庭訪問を機会あるごとに実施し、生徒一人一人の把握に努める。	
	部活動の活性化を図る。	部活動加入への啓蒙活動を活発化させ、加入率を増加させる。	
	各種資格取得の実現を目指す。	英検・漢検等の資格取得に対し、学校行事化への検討を加える。	
	基礎学力の向上を図る。	成績下位者への課外授業を充実させるなど、学習への取り組み体制を強化する。	
	進学指導の充実を図る。	国公立大学の合格者数5人以上を目指す。	
3年次	進路（特に就職）指導のさらなる充実を模索する。	情報や資料提供をきめ細かく行い、進路問題に対する事前指導を強化する。	
	問題行動の未然防止及び不審者対策を強化する。	事故や事件の季節的傾向を予測し、早期の防止対策を講じる。	
	総合的な学習の時間の充実を図る。	各種の体験活動を通して、主体的且つ能動的に行動できる人間性を育む。	
	心の教育を充実させる。	スクールカウンセラーを有効に活用するなど多様化する生徒への対策を講じる。	
	部活動の活性化を図る。	施設設備の整備点検をおこない、充実した部活動が展開できるように努める。	
3年次	各種資格取得の実現を目指す。	各種の資格取得に向けた課外授業や指導体制の強化を図る。	
	基礎学力の向上を図る。	成績上位者への表彰等を通して、学習の達成感や成就感を醸成する。	
	進学指導の充実を図る。	前年度の傾向を基に、受験対策の抜本的な見直しや改革を行うことにより充実した進路指導体制を確立する。	
	進路（特に就職）指導のさらなる充実を模索する。	景気や企業の動向を適切に判断して、生徒一人一人の目的の実現を図る。	
	問題行動の未然防止及び不審者対策を強化する。	地域社会や関係諸機関との連携をより一層強化し、安心して学べる教育環境作りを構築する。	
総合的な学習の時間の充実を図る。	自己実現に向けた各種の取り組みを通して生きる力を育む。		
心の教育を充実させる。	生徒一人一人の個性や長所を伸ばしつつ、他人を思いやる豊かな人間性を育む。		
部活動の活性化を図る。	各種大会での上位入賞や実績が上げられるように努める。		
各種資格取得の実現を目指す。	各種の資格を取得させることにより、努力することの大切さを自覚させる。		